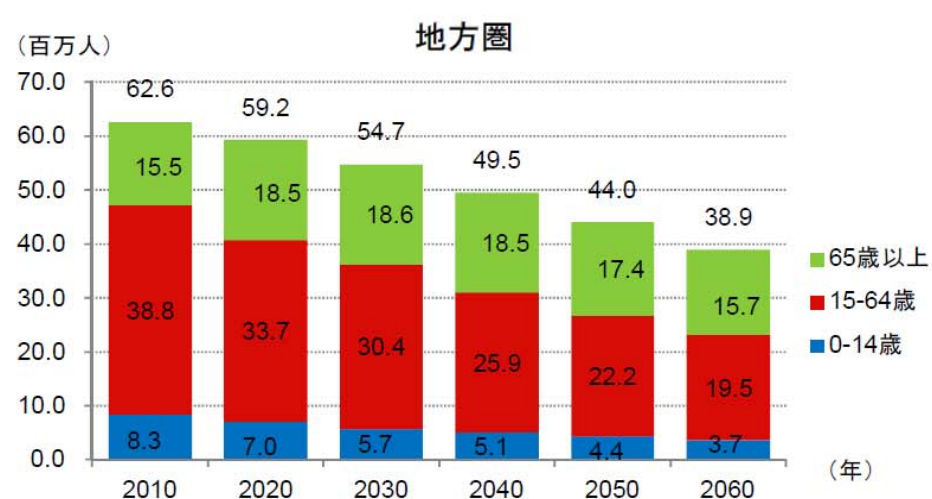
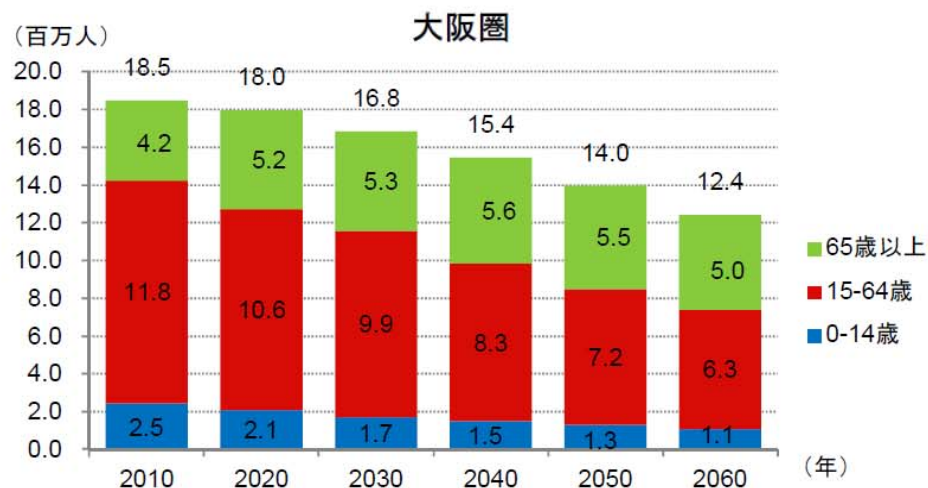
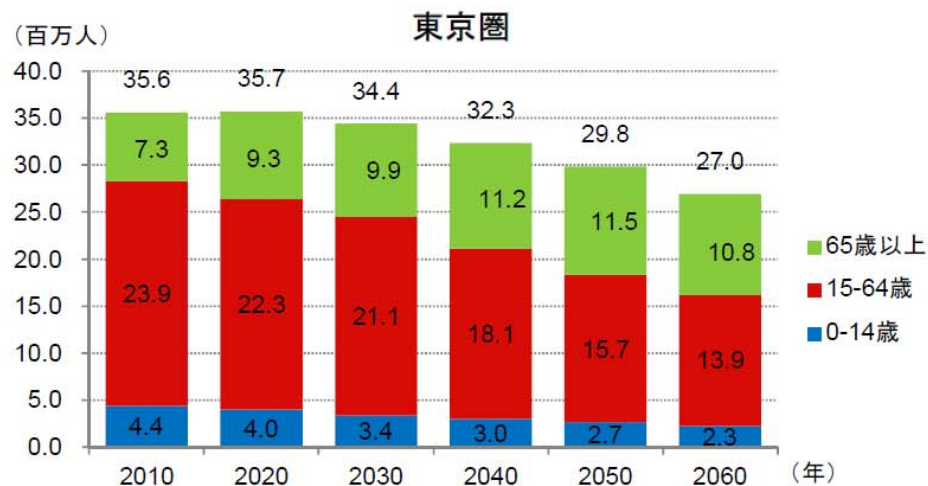


都市圏のコミュニティの現状と課題

三大都市圏の高齢者数の将来推計

- 東京圏は、高齢者(65歳以上)が、2050年には、約420万人増加(対2010年比)。
- 大阪圏は、高齢者(65歳以上)が、2050年には、約130万人増加(対2010年比)。
- 名古屋圏は、高齢者(65歳以上)が、2050年には、約80万人増加(対2010年比)。



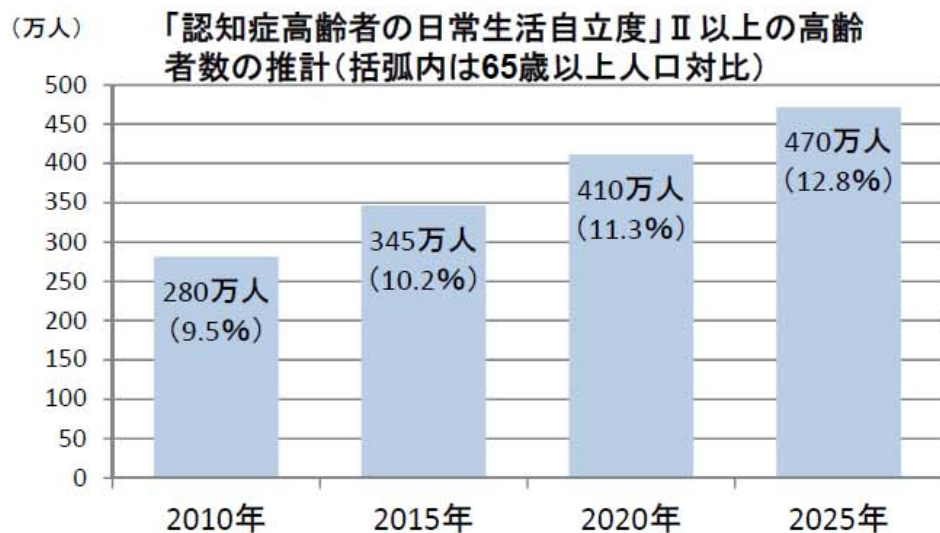
(国土のグランドデザイン2050(国土交通省)より抜粋)

今後の高齢者人口の見通しについて

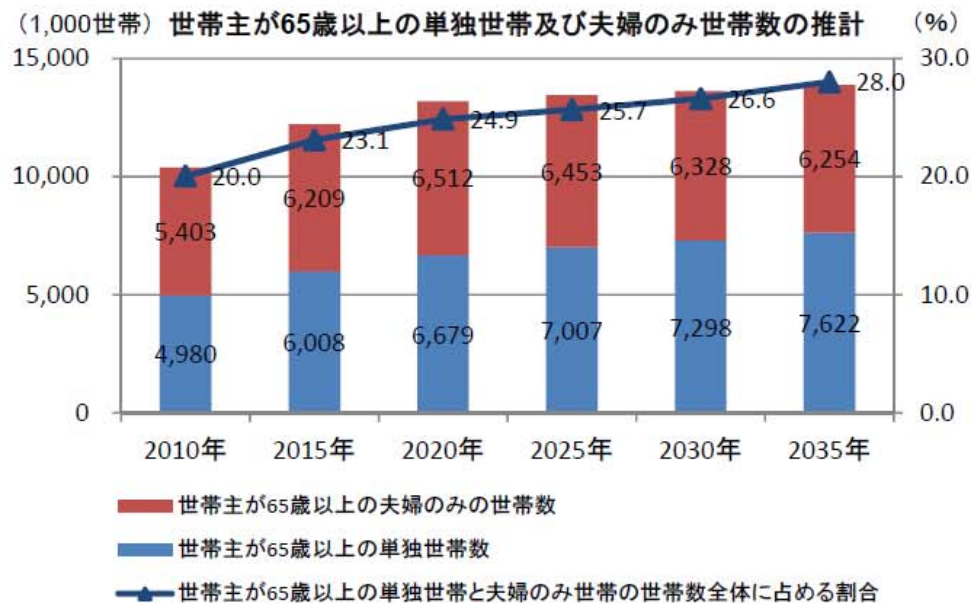
① 65歳以上の高齢者数は、2025年には3,657万人となり、2042年にはピークを迎える予測(3,878万人)。また、75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加していき、2055年には、25%を超える見込み。

	2012年8月	2015年	2025年	2055年
65歳以上高齢者人口(割合)	3,058万人(24.0%)	3,395万人(26.8%)	3,657万人(30.3%)	3,626万人(39.4%)
75歳以上高齢者人口(割合)	1,511万人(11.8%)	1,646万人(13.0%)	2,179万人(18.1%)	2,401万人(26.1%)

② 65歳以上高齢者のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者が増加していく。



③ 世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加していく。

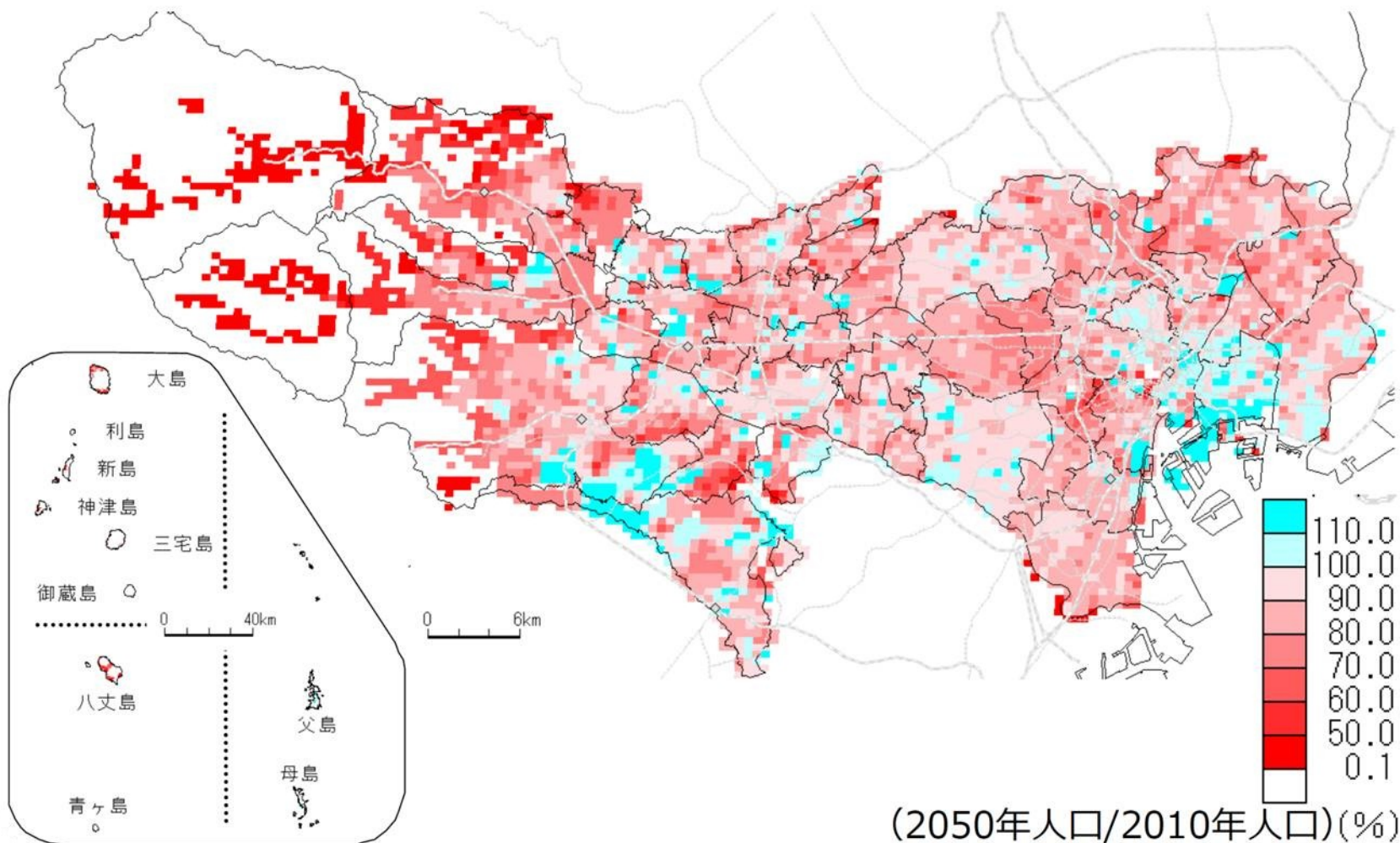


④ 75歳以上人口は、都市部では急速に増加し、もともと高齢者人口の多い地方でも緩やかに増加する。各地域の高齢化の状況は異なるため、各地域の特性に応じた対応が必要。

	埼玉県	千葉県	神奈川県	大阪府	愛知県	東京都	～	鹿児島県	島根県	山形県	全国
2010年 <>は割合	58.9万人 <8.2%>	56.3万人 <9.1%>	79.4万人 <8.8%>	84.3万人 <9.5%>	66.0万人 <8.9%>	123.4万人 <9.4%>		25.4万人 <14.9%>	11.9万人 <16.6%>	18.1万人 <15.5%>	1419.4万人 <11.1%>
2025年 <>は割合 ()は倍率	117.7万人 <16.8%> (2.00倍)	108.2万人 <18.1%> (1.92倍)	148.5万人 <16.5%> (1.87倍)	152.8万人 <18.2%> (1.81倍)	116.6万人 <15.9%> (1.77倍)	197.7万人 <15.0%> (1.60倍)		29.5万人 <19.4%> (1.16倍)	13.7万人 <22.1%> (1.15倍)	20.7万人 <20.6%> (1.15倍)	2178.6万人 <18.1%> (1.53倍)

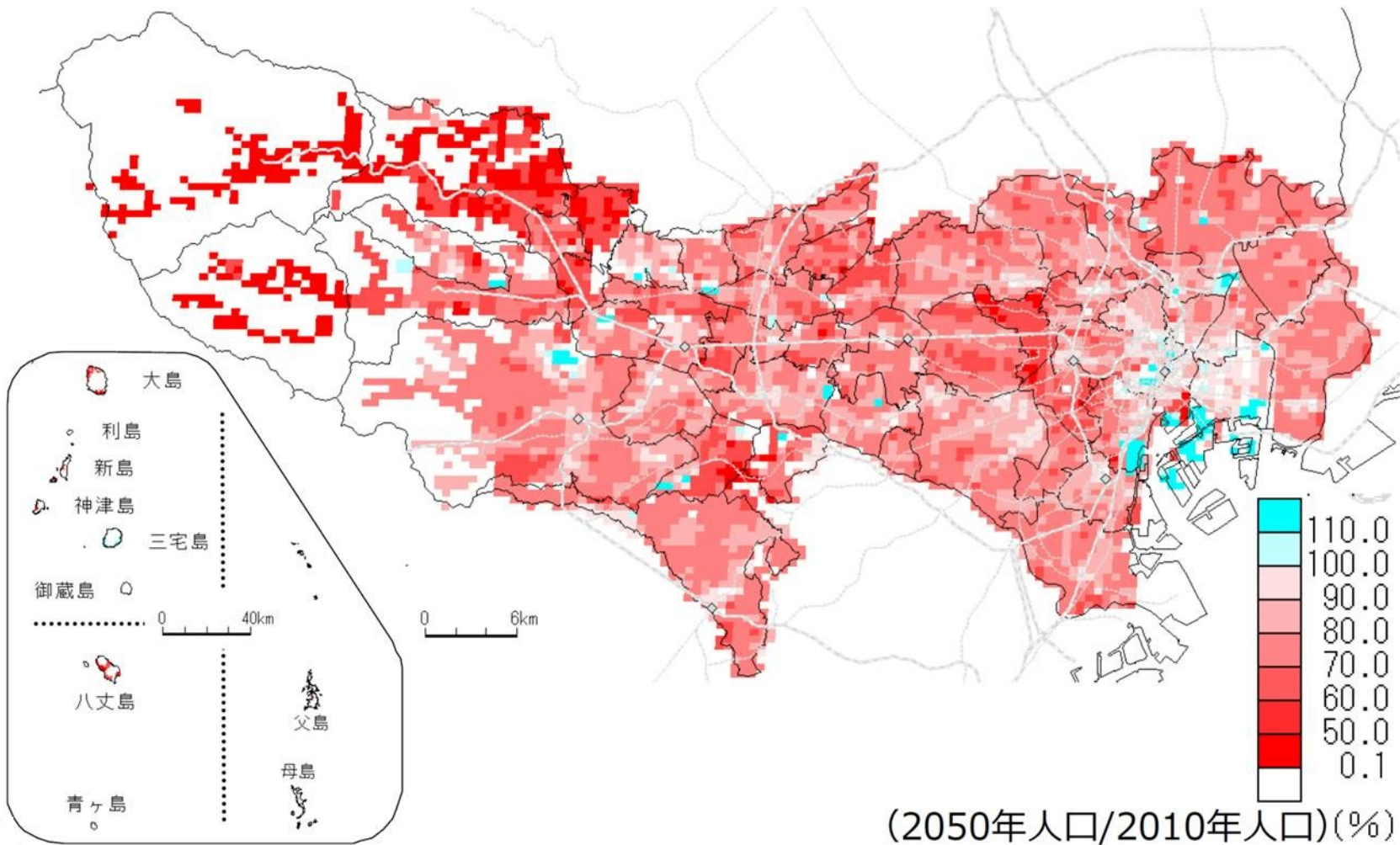
東京都における将来人口推計①

総人口：増減率 (2010年-2050年)



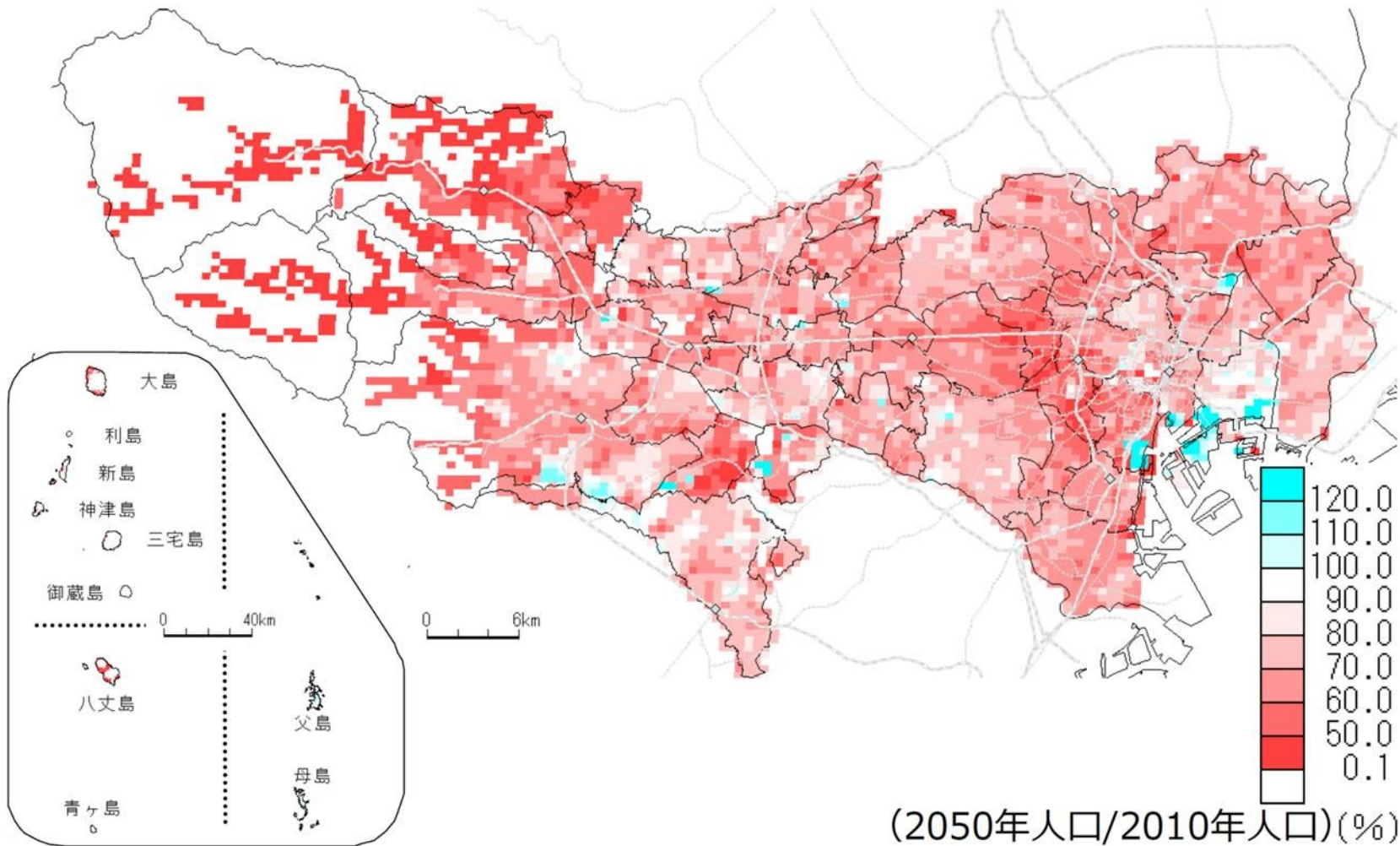
東京都における将来人口推計②

年少人口：増減率（2010年-2050年）



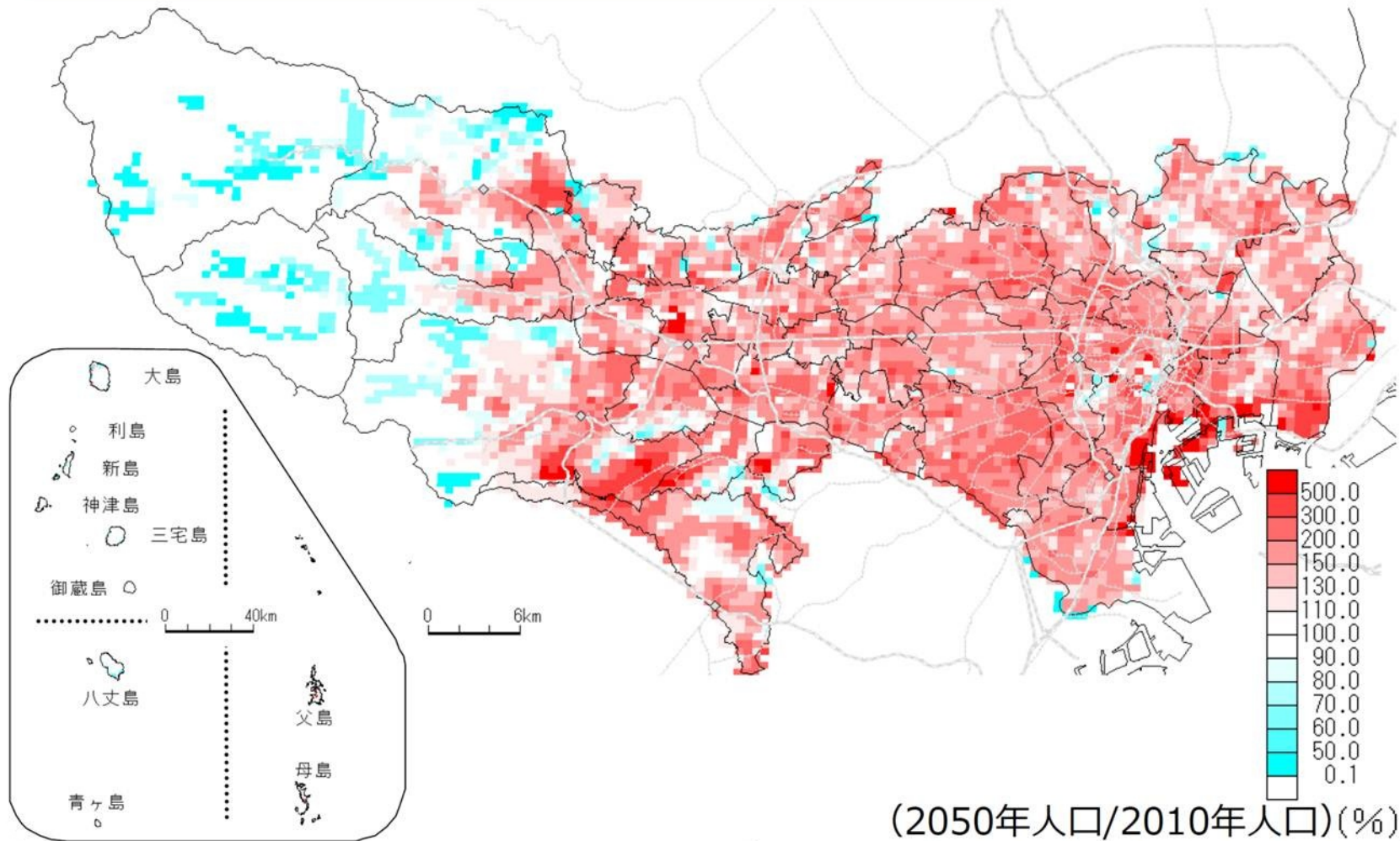
東京都における将来人口推計③

生産年齢人口：増減率（2010年-2050年）



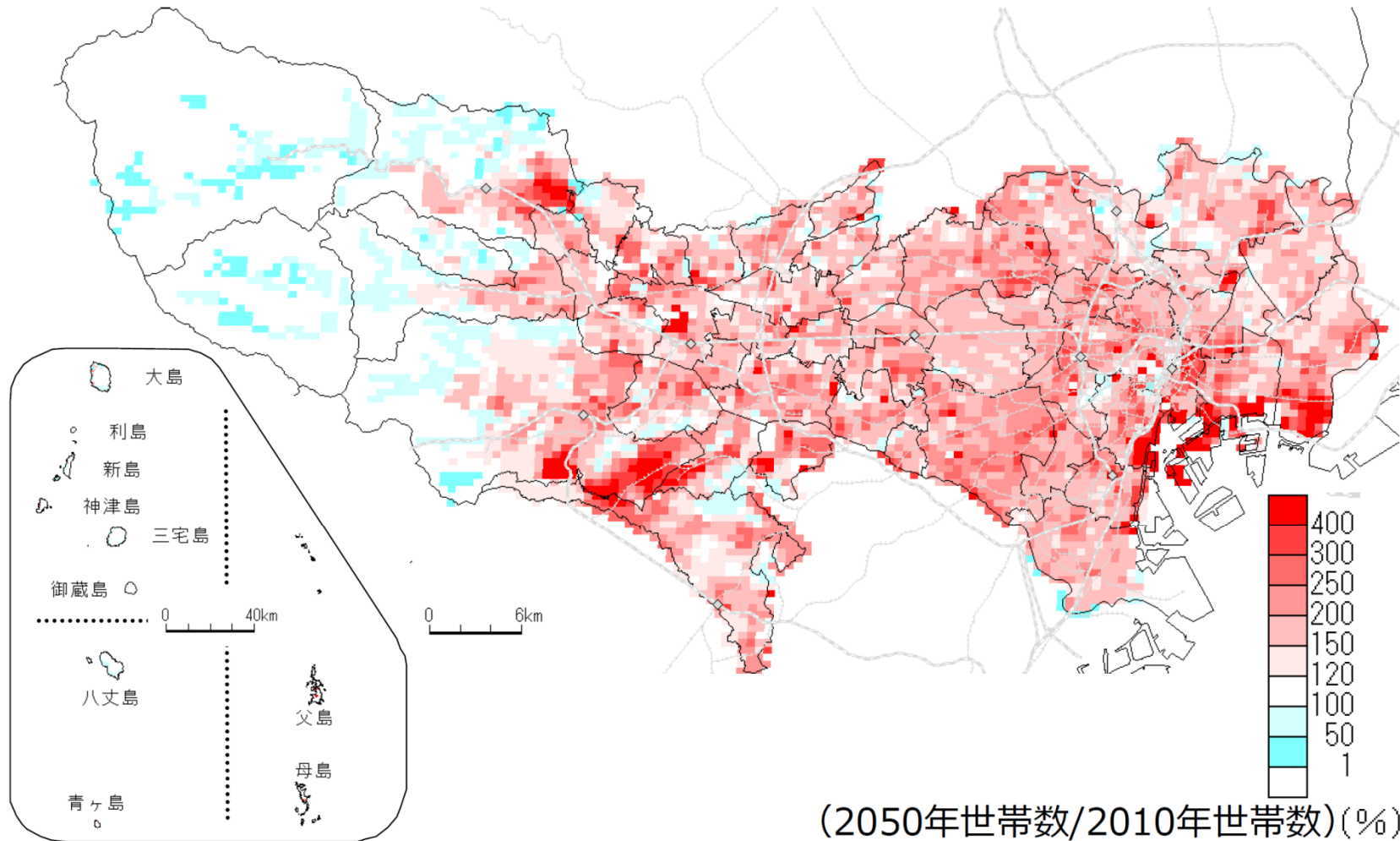
東京都における将来人口推計④

老年人口：増減率（2010年-2050年）



東京都における将来人口推計⑤

高齢者単身世帯数：増減率（2010年-2050年）



都市部のコミュニティの現状と課題

総務省「今後の都市部におけるコミュニティのあり方に関する研究会」(座長:河合克義 明治学院大学社会学部教授)は、都市部のコミュニティの現状と課題について調査を行い、その結果を以下の9つのポイントに概括している。

1. 地域の関係の希薄化

(1) 自治会・町内会加入率の低下

- ・「若い世代」「ひとり暮らしの世帯」「居住年数が浅い世帯」で加入率が低い傾向
- ・未加入世帯ほど「地域活動に関心がない」傾向

(2) 近所付き合いの希薄化

- ・特にサラリーマン世帯が多い都市部では、地域にいる時間が少ないため、近所付き合いの希薄化につながっている傾向
- ・東京の都市やマンションで特に顕著であり、地方圏の都市では比較的隣近住民とのつながりを有している例あり

(3) 地域活動の担い手不足

- ・自治会・町内会の役員の高齢化が進んでいる。役割が集中し、人も固定化する傾向
- ・自営業者等が減少し、代わりに入ってきた外部の企業等は地域活動への協力が得にくい傾向

2. 自治会・町内会の役割の多様化

(1) 支援が必要な住民への対応

- ・ひとり暮らしの世帯等は近所付き合いが希薄になる傾向
- ・「孤独死」防止の観点等から、ひとり暮らしの高齢者や災害時の要援護者等、支援が必要な住民の情報の把握が必要
- ・個人情報管理方法に課題

(2) 防災面の取組への期待

- ・都市住民の防災に対する意識は高い傾向。「防災力を高める」ことについてニーズが高い
- ・東日本大震災時には、日頃から地域との付き合いがない人は、災害時の避難方法や避難先を知らないため、うまく避難できなかったり、避難先で協調できなかったりする場合あり

3. コミュニティを構成する多様な主体

(1) マンションと自治会・町内会の関係

- ・マンションには既存の自治会・町内会に加入せず、又は退会するところもあり、マンション住民と地域のつながりが構築しにくい
- ・地域における防災等の取組に、マンション等の住民が個別に参加できず、結果的に集合住宅が孤立する事例あり

(2) 企業等の勤務者や多彩な住民と地域の関係

- ・都市部は、住民に多彩な人材が含まれており、また住民以外の企業等の勤務者も日中活動を展開
- ・様々な人材を活かすことで、様々な問題に対応する解決策につなげていくことが可能

(3) 新たな地域コミュニティ組織

- ・自治会・町内会のほか、地域で活動する各種団体・民生委員等が地域課題を話し合い、解決に向けて取り組む「プラットフォーム」を形成する事例あり
- ・プラットフォーム形成により、行政が直接実施してきた事業を地域に委託する流れも増加

(4) 新たなきっかけによる地域との関わり、つながりの発生

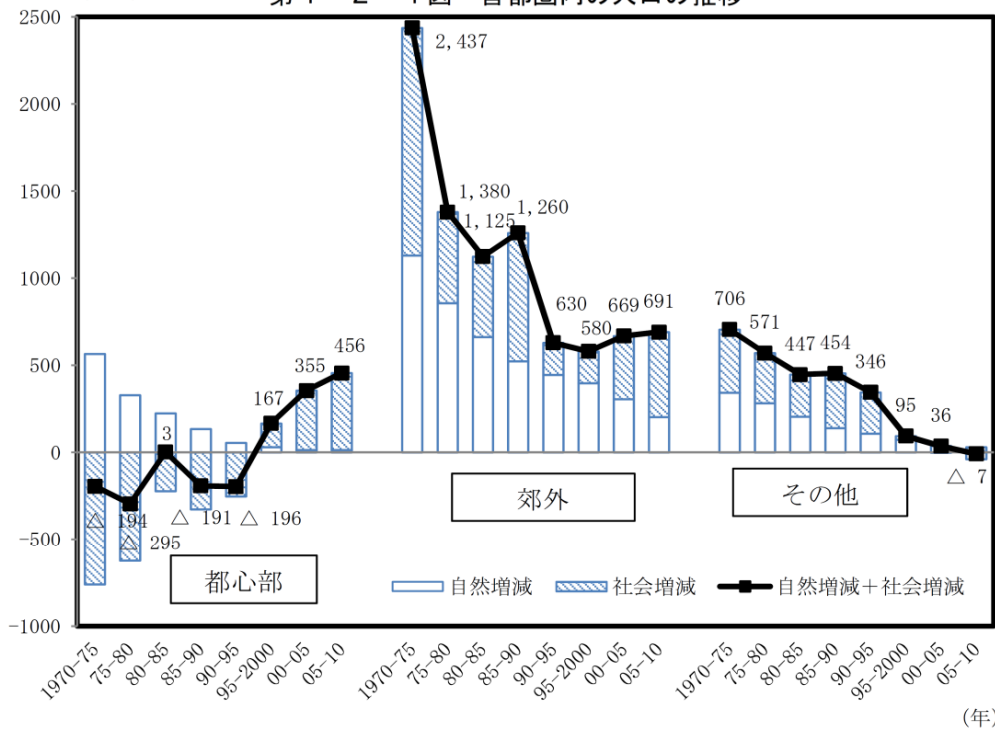
- ・近所付き合いはしなくても、人とのコミュニケーションを望んでいないわけではなく、カフェ等の集いを提供している事例あり
- ・祭りやイベント等は、地域に関心がなかった住民等が地域と関わりを持つきっかけにもなる

郊外”街の高齢化”

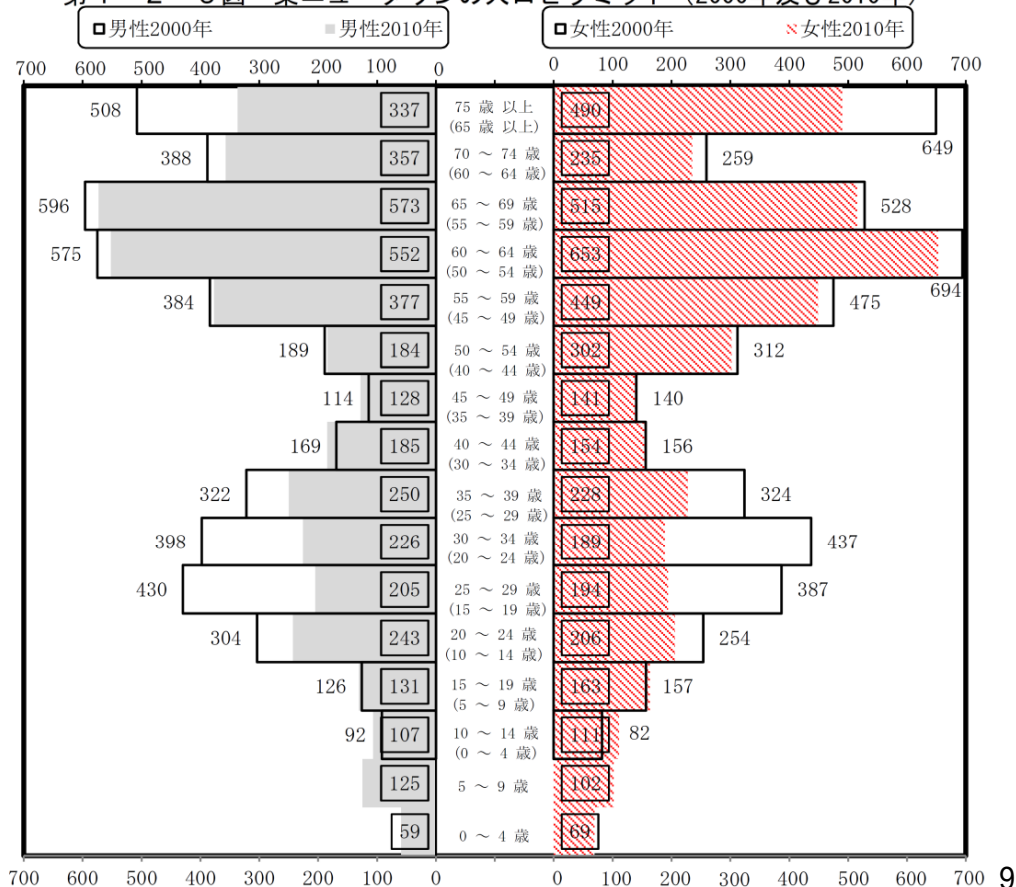
（“街の高齢化”）

- 人口を巡る様相は首都圏内の全域で一様でなく、地域によって人口及び人口構成が異なり、また大きく変化している。
- 地方から首都圏に大量に流入した人口は、郊外に開発された住宅地に住宅を求めて多くの者が定住する、「郊外化」の動きがみられる。その後90年代後半からは、都心部の不動産価格が低下したことや、かつて郊外に移り住んだ年代の者の子ども世代が離家して転出したこと等を背景に、郊外から都心部へ再び転出が超過（「都市回帰」）した。
- この結果、首都圏の郊外地域では、かつて転入してきた世代が高齢期に入る一方、若年層や子どもが減少し、街全体が“高齢化”した。
- “街の高齢化”が進むことで、
 - ・地域の経済への影響（消費の減少や商店街の衰退、「買い物弱者」の発生、地方税収の減少、高齢化のための財政支出の増加など）
 - ・地域社会への影響（地域コミュニティの維持の困難化、地域インフラの老朽化、空家の増加、犯罪等の発生など）
 - ・街の姿・あり方への影響（街づくりの見直し・行政サービスの見直しの必要、交通インフラの維持の困難化など）
 などが懸念される。このため、地域経済、財政、人口、都市計画、医療福祉、社会、NPO・ソーシャルビジネス等様々な学問的・政策論的観点から連携して問題を立体的に構成し、分析・検証する必要がある。

第4-2-1図 首都圏内の人口の推移



第4-2-5図 某ニュータウンの人口ピラミッド（2000年及び2010年）

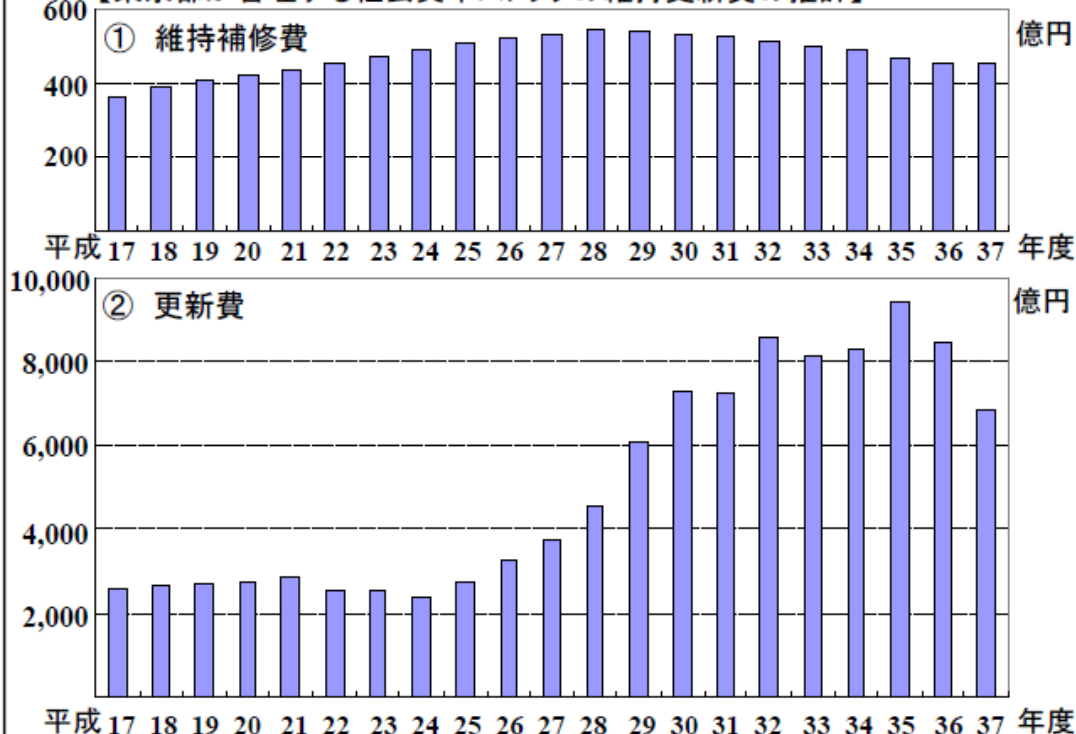


老朽化した公共施設の更新に伴う財政負担の急増

○大都市部においては、人口急増期(昭和30～40年代など)に集中的に整備した公共施設が一斉に更新時期を迎えるため、老朽化した公共施設の更新に伴う財政負担が急増する

- ・ 東京都が管理する社会資本全体の維持補修費及び更新費の推計結果をみると、平成20年代後半以降、財政負担が急増する見込みとなっている

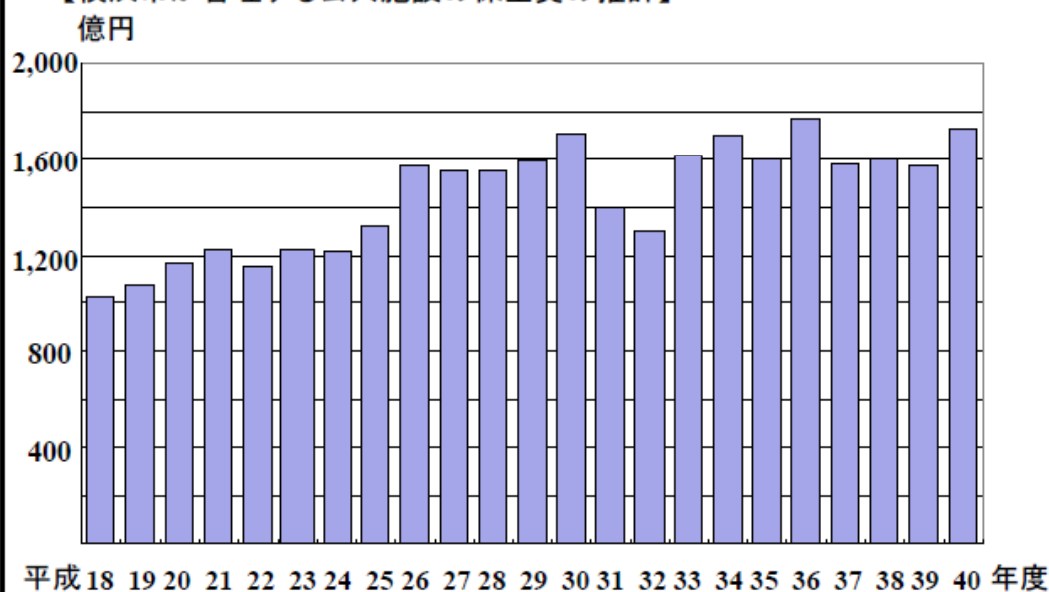
【東京都が管理する社会資本ストックの維持更新費の推計】



※ 東京都が管理する社会資本ストック(道路、橋りょうなど一般会計が所管するもののみ)の維持補修費と更新費について推計
 ※ 推計は、「東京都が管理する社会資本の維持更新需要額の将来推計(平成10年7月)」(東京都)の考え方をベースに行った
 (出典) 最近の都財政に関する研究会「人口減少社会における都財政運営のあり方」(平成17年11月)

- ・ 横浜市が管理する公共施設の保全費の推計結果をみると、今後、財政負担は着実に増加する見込みとなっている

【横浜市が管理する公共施設の保全費の推計】



※ 横浜市が管理する公共施設(企業会計を含む)の保全費(点検、修繕、改修、更新に要する費用)について推計
 (出典) 横浜市「横浜市公共施設の保全・利活用基本方針(平成21年3月)」